

鋼構造物用上塗り塗料

高耐候性厚膜形アクリルシリコン樹脂塗料

セラボーンHB



上塗



鉄構造物防食・美装用として、高品質・低価格を実現させた
画期的な高耐候性厚膜形塗料です。

特長

1. 高耐候性

「セラボーンHB」は、無機特有の耐候性に優れたシロキサン結合を形成するアクリルシリコン樹脂と高耐候性顔料を配合し、特殊な架橋技術により高耐候性塗料を完成しました。
光沢の保持が非常に長く、変色も非常に少ない塗料です。

2. 鉛、クロムフリー

「セラボーンHB」は、鉛やクロムを使用していない環境にやさしい塗料です。

3. LCC (ライフサイクルコスト) 低減に最適

「セラボーンHB」は、新設・塗替えともに適切な下塗り塗料との組み合わせで長期にわたる耐久性が得られます。

4. 厚膜・省工程で工期の短縮が可能

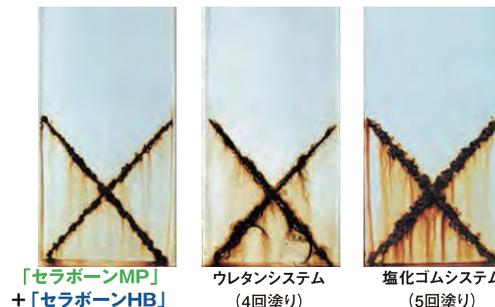
「セラボーンHB」は、1回の塗装で乾燥膜厚が50 μ m可能で、厚膜形下塗り塗料(ネオゴーセープライマーHBやセラボーンMP等)と組み合わせることで省工程仕様が可能であり工期短縮にも有効です。

5. 優れた作業性

「セラボーンHB」は、はけ塗り、ローラー塗り、エアレススプレー塗りのいずれも優れた作業性と美しい仕上がりが外観が得られます。

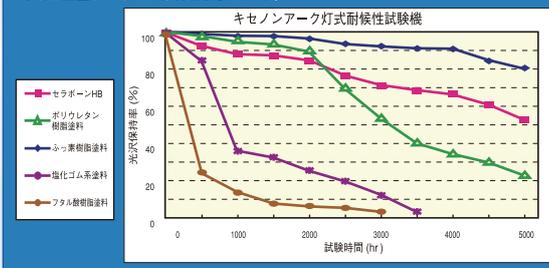
省工程高防食システム

複合サイクル試験360サイクル (発錆面へ3種ケレン後に塗装)
「セラボーンHB」は下塗りの「セラボーンMP」(厚膜形変性エポキシ樹脂塗料)と組み合わせ2~3回塗りにより、従来の4~5工程塗りと同等以上の防食性を発揮します



高耐候性

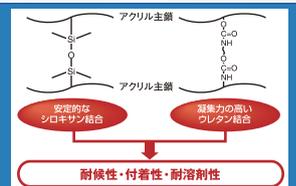
ふっ素樹脂塗料に準ずる耐候性を発揮します。



硬化機構

セラボーンHBは大気中の湿気と反応し、無機特有の耐候性に優れたシロキサン結合により架橋(硬化)します。

また、高耐候性ウレタンの補助架橋の導入により特に厚膜塗装の場合でも、四季を通じ安定した性能を発揮します。



商品構成

商品構成		荷姿	色相	シンナー
16kgセット	主剤:	14.4kg	白、各色	セラボーン 上塗り用シンナー 16L、4L
	硬化剤:	1.6kg		
4kgセット	主剤:	3.6kg		
	硬化剤:	0.4kg		



神東塗料

塗装仕様例

新設 (省工程)

工程	塗料名	膜厚(μm)	塗装法	専用シンナー(希釈率%)	標準使用量(g/m ²)	塗装間隔(20℃)	施工場所
素地調整	ISO Sa2 1/2(1種ケレン相当) ブラスト処理によりさび、黒皮、異物を除去する					4時間以内	工場
下塗	ネオゴーセープライマーHB	120	エアレス	5~15	410	1日~12ヶ月	工場
上塗	セラボーンHB	50	はけ・ローラー	10~15	170	-	現地

塗替え

工程	塗料名	膜厚(μm)	塗装法	専用シンナー(希釈率%)	標準使用量(g/m ²)	塗装間隔(20℃)	施工場所
素地調整	2~3種ケレン パワーツール処理によりさび、劣化塗膜を除去する(ただし活膜は目粗しすること)					4時間以内	現地
下塗	セラボーンMP	100	はけ・ローラー	5~10	300	1日~15日	
上塗	セラボーンHB	50	はけ・ローラー	10~15	170	-	

【特記事項】

- ① 発錆の著しい箇所、エッジ、溶接部、ボルト部など、膜厚が付きにくい箇所は、先行増し塗りをしてください。特に、小径パイプや型鋼(C.H.L)は薄くなりがちなので、先行増し塗りが必要です。
- ② 施工中の膜厚管理として、ウェットゲージで要所をチェックしながら塗装してください。
- ③ 上記使用量は標準的なものです。被塗物の形状、表面状態などにより異なります。

塗装案内

適正塗装法		エアレススプレー・はけ・ローラー			
塗装環境	温度	MIN 0℃ MAX 40℃(被塗装面の温度:MAX 50℃)			
	湿度	85%以下			
塗装方法	エアレススプレーの例	圧縮比	30:1以上	チップサイズ(グラコ)	513・515相当
		二次圧	12~15MPa	適正粘度	10~15dPa・s(リオン粘度計)
温度		セラボーン上塗用シンナー			
使用シンナー		5℃	10℃	20℃	30℃
使用可能時間		10時間	8時間	7時間	5時間
乾燥時間	指触	30分	30分	30分	30分
	歩行可能	2日	2日	1日	16時間
	完全硬化	14日	10日	7日	7日
塗重ね間隔	MIN	1日	1日	1日	1日
	MAX	14日	10日	7日	7日
適正希釈率	エアレス	10~15%	10~15%	10~15%	10~15%
	はけ	10~15%	10~15%	10~15%	10~15%
	ローラー	10~15%	10~15%	10~15%	10~15%

- * 表中の乾燥時間は、被塗物の形状、表面状態、湿度、換気など施工条件によって変動します。
* 詳細内容は塗料データシートをご参照ください。

取り扱いに関する注意事項

■適合

1. 塗料の取り扱いには、屋外または換気の良い場所で行ってください。
2. 火気厳禁です。静電気対策のため、使用する塗料などは接地してください。
3. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
4. 塗料が皮膚に接触することで感作性を引き起こすことがあります。
5. 塗料の取り扱い時は、必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、塗料が身体に付着しないよう注意してください。皮膚が露出する箇所には保護クリームを塗ってください。
6. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
7. 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
8. 主剤/硬化剤は、はかりを用いて計量し、必ず所定の比率で混合して、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。正しい比率でない場合、硬化不良などの不具合の原因となります。
9. さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
10. 希釈剤は指定の希釈剤を使用し、希釈量は規定量内でご使用ください。

■塗装

1. 気温および被塗面温度が低い(5℃以下)場合や、湿度85%RH以上の場合は塗装を避けてください。乾燥遅延、付着不良、外観不良、塗膜性能低下など不具合を生じるおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は塗装を避けてください。外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
3. 被塗面に結露があるときは塗装を避けてください。(特に早朝、夕刻の結露には注意してください。)
4. 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
5. 強風、砂埃が多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが、塗装中や乾燥後に付着すると塗膜性能低下や外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
6. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
7. 塗装時は、必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を着用し、身体に付着しないよう注意してください。
8. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
9. 塗装中および塗膜乾燥中は、換気を十分に行ってください。

10. 屋外での塗装において、建物の換気口、空気取入れ口などから、塗料や揮発した溶剤が室内に入り込まないように適切な処置をしてください。
11. 主剤/硬化剤開缶後は、直ちに塗装し可能時間内に使用してください。可処分時間を過ぎた塗料で塗装すると塗膜性能低下があります。
12. 仕様書に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅が生じる場合があります。あらかじめ試し塗りにより確認してください。
13. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
14. 塗装器具の洗浄には、二液形ネオゴーセーションナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。

■緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。
6. 万が一、火災が発生した場合は炭酸ガス、泡、粉末消火器を用いてください。

■廃棄

1. 使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
2. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

1. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
2. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
3. 子供の手の届かない場所に保管してください。
4. 容器はつり上げないでください。

- ※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ 本来の用途以外に使用しないでください。
※ ご不明な点につきましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

- 北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 <https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。